

今年も故郷の花いっぱい運動にご支援を！



故郷徳之島にカラフルな花をいっぱい植えて、わきや島を美しく、フラワーアイランドにしようという夢とロマンの事業に挑戦して、早四年目を迎えました。今年も又これまで以上のご支援ご協力をよろしくお願い致します。

一、昨年の回顧と反省

昨年、平成十七年の春には、



島の小学校新入生に加えて、中学校新入生も花いっぱい運動に参加し、夫々の通学路等での入学記念植樹を実施しました。その花木（ハイビスカス）の苗木、支柱棒、標識看板等は島を愛する皆さんのフラワー基金より拠出されました。

徳之島「夢」振興会議のフラワー運動への支援、協力活動は、島興し事業の一環として各方面に浸透しつつあり、島とヤマトの「協同事業の模範事例」の一つになろうとしています。

植樹活動は子供たちの入学記念だけでなく、同窓会記念や郷記念、集落有志や老人会、熱心な個人的活動としても各所で行われつつあります。

しかし、これまでに植えた花木が枯れてしまったところもありました。苗木自体の問題もあるが、植樹後の水かけ、草取り、支柱棒の不整備といった管理面



の対応が適切でなかったという問題も提起されてきております。また、植樹場所や苗木調達

現状では沖縄産の苗木が主であるが、これを徳之島産の苗木体制にもっていくなどの課題も早急に解決しなければならぬ段階にきていると思っております。

二、十八年度の重点課題

① 島の花いっぱい運動を軌道に乗せ、成功させるにはまだまだ解決しなければならぬ課題が沢山あります。

② これまでもクローズアップされてきたテーマでもあるが、今年度はその中の一つでも二つでもクリアしてフラワー事業が更なる前進をするよう頑張る参

りたいと思います。

① フラワー管理部隊をつくる。責任をもって、植えた花が無事に根付くまで世話をしてくれる活動組織をつくる。

これまでの管理は、自発的なボランティア的な形で島の有志にまかせてきたが、これからは、きちんとした体制にして、若干の予算もつけてタイムリーに実行できるようにする。

組織は、3町単位又は熱心な集落単位とし、人がいないところは、シルバーセンター等に委託する。

② 苗木の供給センターをつくる。いつでも花木苗が入手できるように、全島に少なくとも十箇所くらいの苗木供給センターをつくる。現状は大半を沖縄から購入している。（ハイビスカス約三百円、ブーゲンビレア四百円前後）、地元でつくればもっと安くできるので、協力してくれるところを早急につくる。

現在、亀徳の徳州園、井之川の木村勇さんらが、沖縄の不足分をカバーしてくれている。

③ 植樹場所の指定

花を植えたくても、どこへ植えてよいかわからないということでは、花いっぱい運動を成功させることができないので、誰

徳之島の
花いっぱい運動を
応援します！

株式会社サイサン

取締役会長 **川本宜彦**